

三宮周辺地区のまちづくりの方向性

～三宮周辺地区の『再整備基本構想』～

平成27年5月 神戸市

1. 三宮周辺地区の『再整備基本構想』策定の目的

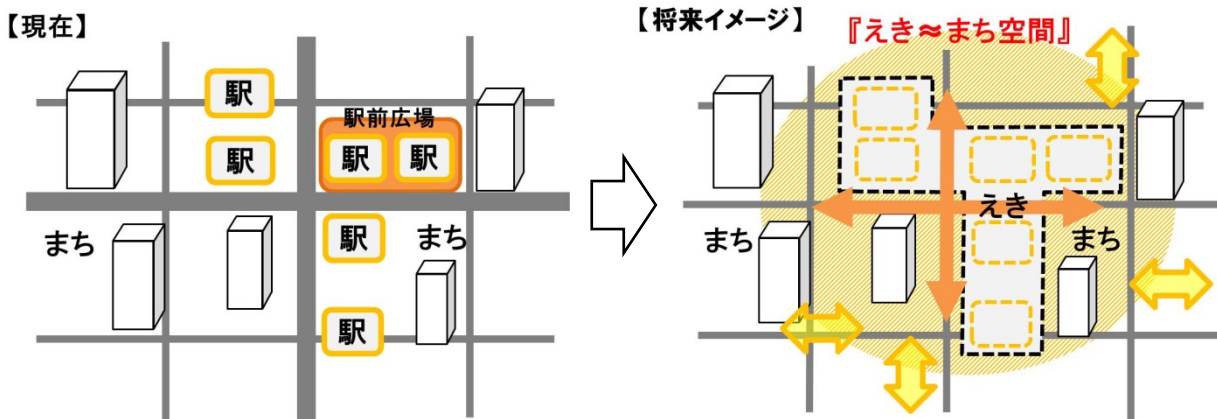
神戸の玄関口である三宮周辺地区の再整備は、神戸のまちや経済全体を活性化するうえで不可欠であり、民間活力の導入を図りながら、魅力的で風格ある都市空間を実現するため、事業化を見据えた具体的な検討が必要です。

再整備の検討にあたっては、まちづくり協議会や学識経験者などからなる三宮構想会議を開催し議論を重ねるとともに、「神戸の未来のまちづくり 300 人会議」、「市長との対話フォーラム」、「都心の未来を考えるシンポジウム」などにおける意見を踏まえ、三宮周辺地区の『再整備基本構想』の策定を進めていきます。

2. 三宮周辺地区のまちづくりの方向性

(1) 目指すべきこと

- ① 『えき～まち空間』の創出（神戸の象徴）
- ② 『えき～まち空間』を中心とした地区全体の魅力向上



駅前の利便性をさらに高め、賑わいや活力を生み出すため

- ・ 駅前の道路を自動車から【人と公共交通優先の空間】に
- ・ 民間ビルも活用しながら地下・地上・デッキの3層をより【上下移動しやすい空間】に
- ・ 神戸らしさが感じられ誰もが印象に残る【美しいデザイン空間】に



「えき」と「まち」が平面的にも立体的にもつながり、移動しやすく心地よい『えき～まち空間』が創出

- ・ 三宮の6駅があたかも【一つの大きな「えき」】に
- ・ 「えき」での乗り換えはもちろん、「まち」とも行き来がしやすく、【より便利で機能的】に
- ・ もっと「まち」を体験したくなる【神戸の象徴】に

(2) 重点的な取り組み

① 『えき～まち空間』の創出（神戸の象徴）

■歩きやすく

（3層ネットワーク、上下移動しやすい空間）

■わかりやすく

（案内サイン・インフォメーションセンター、駅前広場、新バスターミナル）

■楽しく美しく

（玄関口に相応しい駅前景観、活気ある駅前空間）

② 『えき～まち空間』を中心とした地区全体の魅力向上

■回遊快適

（ゆったりとした歩行空間、滞留空間）

■魅力向上

（街区の再編や老朽建物の建替え更新）

■感動体験

（街並みデザイン、夜間景観）

■協働参画

（低炭素まちづくり、エリアマネジメント）